



「診療報酬改定について」

国家公務員共済組合連合会 名城病院長

早川 哲夫

平成22年度の診療報酬の改定内容の答申が、2月12日に中医協から出た。今回は10年ぶりのプラス改定である。2000年に世界保健機構（WHO）が発表した各国の医療評価では、日本の医療は世界最高の評価である。世界一の平均寿命、最も低い新生児死亡率、医療機関にいつでも、どこでも診てもらえ、しかも他国に比べ医療支出が最も少ないなどによる総合評価の結果である。

残念なことに、医療に対する国民の不満足度は、国民皆保険の日本では70%、一方医療保険に入れない人が4,600万人もいるアメリカでは40%弱だそうである。日本は他の国よりも医療環境が良いことに気付いて欲しいと思う。これでは医療を受ける国民も不幸である。さらに、日夜、骨身を削り、ギリギリの努力をしている医療側にとっても大きな不幸である。今回の0.19%のアップでは、

医師の週40時間、週休2日の生活は夢で、家族との満が縮まりそうにない。

政権交代前は、医療崩壊を防ぐために、20%は増やすと言っていた。政権交代後は医療をコロッと忘れたかのようである。

日本の医療費は国内総生産（GDP）比で欧米と比べ約2%、5～10兆円低い数字である。現在の医療崩壊などの医療問題の原因は不勉強な政治家が長年、医療費抑制政策を続けたためである。しかし、わが国の政治家や経済人の中には、医療費を引き上げても医療問題が解決するかは明らかではないと主張する人も少なくはない。しかし、万人がわかる程に医療崩壊が起こってからでは多額の税金を注入しても簡単には元には戻らない。英国に良い見本がある。

サッチャー首相が医療費を抑制し、医療崩壊が起こり、入院待ちが数ヶ月に及んだ。ブレア首相が

多額の国費を注入したが、入院待ちは一方向に解消されない。

安く、いつでも受診可能で、しかも安全で質の良い、三拍子揃った医療を望むのは不可能なことは世界の常識とされている。

今回の改定では、診療所の再診料を71点から69点に下げってしまった。診察料は医師からの自分の病気の診断、治療の選択、経過などの説明を受け、自分の今後の希望にできるだけ合わせるための大切な時間に対する費用である。これをケチルようでは医療に対する満足度が半減する。限りある人生を有意義に過ごすためには、自分に合った医療を選ぶ相談の費用は高度な医療に劣らず重要である。

良い治療も自分に合ってこそ効果があがるはずだ。

医療は不確実性が高く、高度な医療は危険性も高いので、時間をかけ後悔のない選択とアフターケアが大切である。そのための費用をおしまないことが大人の実感である。「後悔先に立たず」を実感しないためにも、良い診療報酬改定に努めてくれる政治家を選ぶことが医者選びに劣らず重要と考える。



市民公開講座のお知らせ

ご自由にご参加ください。（参加費無料）
お席に限りがありますので、ご予約をおすすめします。

日時 平成22年6月22日(火)午前11:00から

会場 名城病院 地下1階 大会議室

テーマ 「胆石症のお話」

講師 名城病院 外科部長 上松俊夫



お問合せ・ご予約 名城病院 公開講座係 ☎(052) 201-5311 内線 2145

脊椎脊髄センター 側弯症治療手術研修会 “ベプターコース”

平成22年2月5日、6日の2日間、当院整形外科脊椎脊髄センターは、患者さんとそのご家族の協力を得てベプター研修会“ベプターコース”を行いました。

ベプターは、背骨が曲がる側弯症の治療用矯正器具で、アメリカ合衆国のロバート・キャンベル医師により開発されました。



ベプターは胸骨や骨盤に固定し内臓の圧迫を防ぎます、また固定したまま伸縮できる特徴をもっており小児患者の成長にともなう再手術の負担を軽減できます。

当院の整形外科部長で脊椎脊髄センター長の川上医師は、長年側弯症治療を行うなかで、日本では保険適用されていないベプターを研究し有効性を確認してきました。

そして、側弯症患者さんらとともにベ

プター手術の保険適用を国に働きかけ、平成20年12月当時の舛添厚生労働大臣から直接承認通知を受けることができました。

平成21年7月には、国内で初めて当院にベプターの使用承認があり全国から患者さんが来院しています。

この新しい治療を患者さんが近くの病院で受けるためには、医療者へ適正な診断と安全なベプター手術を伝える必要があります。そのためベプターコースでは全国に受講者を募り、整形外科専門医に多数参加いただきました。

この研修会には国内のみならず、お隣の韓国からも医師が来日し受講しました。研修会では、手術室で川上医師、同科の辻医師らが行う手術をカメラ撮影し、生中継で会議



舛添前厚労相、川上整形外科部長
(左上2番目)と患者家族
(大居室にて)

室の大きなモニターに映し出し、双方向会話もできるようにしました。

また、今回はベプターの開発者であるキャンベル医師も来日し研修にご協力いただき、新しい医療技術が側弯症患者の治療に役立つよう、熱心に研修会が行われました。

最後に今回の研修会にご協力いただきました患者さん、そのご家族に感謝いたします。

企画課

新任ドクター紹介

整形外科

齊藤敏樹
さいとう としき



この4月より、赴任いたしました。
1日も早く環境に慣れ、患者さんのお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

小児科

東慶輝
あすま よしてる



この4月より、赴任いたしました。
患者さんの健康に貢献できるよう努力いたしますので、よろしくお願いいたします。

防火委員会

防火委員会委員長

服部浩朋

総合防災訓練を実施しました

2月17日(水)に院内において名城病院総合防災訓練を実施しました。はじめに、緊急地震速報受信後の初動訓練、被災を想定した災害対策本部の設置訓練、被災状況の確認・報告訓練を行いました。次に、病棟での出火を想定した初期消火・通報・避難訓練を行いました。

病院には他の施設と異なり、自身で移動できない患者さんを安全に避難させるという任務が課せられます。そこで今回は、車いすに座ったままで階段を下ろすことのできる特殊な「階段避難車」を初めて導入し、その有用性を検証しました。災害時に迅速かつ適切に対応するためには、日頃の訓練やシミュレーションが大切です。



緊急地震速報から地震発生までは、数秒から数十秒の短い時間しかありません。皆さん、まず自身の身を守ってください。また、震災時にはエレベーターでの閉じ込め事故が多発します。エレベーター内にいる場合は、直近の階ボタンを押してエレベーターを停止させてください。

昨年5月の消防法改定により、病院等の大規模施設には「自衛消防団」を設置することが義務付けられました。



当院においても隊長・班長候補者に専門研修を受講させているところです。準備が整いましたら、災害時には「自衛消防団による消火・救援活動」を行う方針であり、そのための訓練も計画しています。災害はいつ、どこで起こっても不思議ではありません。当院では、万一の災害時にも被害を最小限に抑えるべく定期的に防災訓練を行います。訓練の際にはご迷惑をお掛けしますがご協力くださいますようお願いいたします。

病棟紹介

ICU(集中治療室)・透析室

ICU・透析師長 長野滋子



4階に位置しますICU(集中治療室)・透析室は、2部署で1看護単位をとっています。

ICUは、病床数6床を有し、主に整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・外科の手術直後の患者さんが入室されます。また、循環器・呼吸器・腎臓内科の緊急治療の必要な患者さんも入室されます。急性期看護及び小児から老年看護を専門的知識・技術を持って医師・ME(臨床工学技師)と一致協力し、24時間治療・看護にあたっています。



(感染防止の為、マスクを着用しています。)

透析室は、20ベッドを有し月曜から土曜の午前・午後の2シフトで外来維持透析患者さん・入院患者さん・PTA(血管拡張術)後の透析を月間約700件行なっています。透析は、導入期では病棟看護師と協力し指導にあたります。外来での維持透析患者さんには、レントゲン所見や採血データを基に、医師・看護師・MEから個別性のある食事・水分・体重等のチェックや指導を行なっています。腎臓病だけでなく糖尿病も合併している患者さんも多く、フ

ットケアにも重点をおいて看護にあたっています。透析看護では、看護倫理が重要であり、症例検討会などの場で十分話し合いを持ち日々看護に励んでいます。ICU・透析と異なった部門を看護師は行ったり来たりと大変ですが、それぞれの特殊性を発揮できるよう個々が専門的知識・技術の向上を図るため自己研鑽に努めています。これからも医師・看護師・コメディカルと協力し、良い医療・看護を提供していきたいと考えております。

名城病院 ニュース



節分

「鬼は外！」

か け声良く、入院中のチビッコが、鬼に扮した看護師めかけ、手作りの豆（新聞紙を丸めた物）をまきました。



最 初は、鬼をみて、おっかなびっくりの子も、お母さんたちに励まされ、元気いっぱい鬼たちを追い払いました。（病気もこのかけ声できっと逃げ出していくネ！）

お知らせ

高齢者・障害者・妊婦の方に
駐車スペースが
新設されました

「高齢運転者等専用駐車区
間制度」により病院の西側の
道路に8台分の駐車スペース
が4月19日できました。

高齢者や妊婦などは住所地
管轄警察署へ申請し、交付を
受けた「専用場所駐車標章」
の表示により駐車が可能とな
ります。



編集集



Wedding Bear

昨年、結婚式を迎えた。そして先日、息子が結婚した。25年という時の経過が新たな幸せを運んでくれた。披露宴では、お決まりの新郎新婦の生い立ちから現在までのプロフィールが紹介されるのだが、無事に成長し晴れの日を迎えた二人の姿を見ると胸が熱くなった。そして何よりも友人、親戚、家族一同が笑顔で会えることができたことに感謝した。最近、体形の変化と体力の衰えを感じるが、子供が誕生した時以来の感動の場
に心から思う、「健康が一番」。皆様の健康をお祈りします。

（写真 出生時と同じ重さのぬいぐるみを花束贈呈で両親に贈られました）

後記

田村

名城病院診療等のご案内

ホームページはこちら <http://www.meijohosp.jp>

診療科目

内 科・循環器科・小 児 科（小児循環器）
外 科・整形外科・脳神経外科・心臓血管外科
皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼 科
歯科口腔外科・神経内科

お問い合わせは、
・ 午後の診療等、詳しくは、医事課まで（内線 2132）
・ 医療福祉に関しては、医療福祉相談室まで（内線 5105）
医療機関の方へ
・ 病診連携に関しては、病診連携室まで（内線 2151）

診察受付時間

【新患受付】 午前 8:30 ~ 11:30 まで
【再来受付】 午前 8:00 ~ 11:30 まで

面会時間

【一 般】 午後 0:30 ~ 8:00 まで
【新生児】 午後 0:30 ~ 8:00 まで（授乳時間を除く）
【I C U】 午後 0:30 ~ 4:30 まで
（家族のみ） 午後 5:00 ~ 8:00 まで
※生花の病室への持込は、感染予防のためご遠慮願います。

診療案内

【休 診 日】 土曜日・日曜日・祝日
年末年始（12月29日~1月3日）
創立記念日（11月6日）

所在地

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-3-1
TEL (052) 201-5311 FAX (052) 201-5318



名城病院は、病院機能評価の認定を受け、よりよい医療を提供できるよう努力しています。